

## 2025年度 教育計画

教科	数学	単位数	前期 2 後期 2
科目	数学 I	スクーリング（時間）	前期 2 後期 2
科目の目標	①レポートの内容を精選することで、学習内容を理解させ、教科書を丁寧に読む態度を身につけさせる。 ②スクーリングでは各単元の重要事項をわかりやすく解説し、基礎的・基本的事項の定着を図る。 ③数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・原則の理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高める。		
教科書	新数学 I（東京書籍704）	学習書	新数学 I 学習書（NHK出版）
副教材	なし	その他教材	新数学 I 解答編（東京書籍705）

学期	月	項 目	内 容	スクーリング				テスト	レポート	
				本校	都城	小林	日南		回数	日
前期	4	プレリユード（数の計算）	基本的な概念や原理・法則を理解できる。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	20 28	27		27			
	5	数と式（文字と式）	文字を使った式の表し方を確認する。指数法則等を理解し、分配法則を用いて展開することができる。乗法公式等を用いて因数分解することについて理解し、因数分解の公式が利用できる。	4 12 18 26	25	11			第1回 第2回	14 28
	6	数と式（実数） 数と式（方程式と不等式）	平方根について理解する。根号の計算ができる。実数について意味を理解する。方程式について理解し、解くことができる。不等号の意味を理解し、大小関係を不等式で表すことができる。	1 9 15 23 29	22	8	8 22		第3回 第4回	11 25
	7	数と式（方程式と不等式） 2次関数 （2次関数とそのグラフ）	因数分解や解の公式を用いて解くことができる。変化する2つの変数の関係を表す方法として、1次・2次関数のグラフをかき、変化の様子を捉えることができる。	7 13 21	20	6 20	6		第5回 第6回	9 23
	8	前期テスト	前期レポートは下記の範囲を中心に出题します。 前期レポート第1回～6回、テスト対策プリント（第6回 レポートに同封）					31		
	9	2次関数						7		
後期	10	2次関数 （2次関数とそのグラフ） 2次関数 （2次関数の値の変化）	2次関数 $y=ax^2+bx+c$ を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形し、軸と頂点を求めてそのグラフをかくことができる。2次関数の最大値・最小値についてグラフを利用して理解する。	6 12 20	5	5	19 19		第1回 第2回	15 29
	11	三角比（鋭角の三角形） 三角比（三角比の応用）	三角比の意味を理解し、直角三角形の辺の長さからその値を求めることができる。30°、45°、60°の三角比の値を求めることができる。正弦定理等を理解し、その値を求めることができる。	3 9 17 23	2		2 16 16		第3回 第4回	12 26
	12	データの分析 集合と論証	統計的問題解決の活動について理解する。目的やデータに応じて、度数分布表などに表すことができる。集合の表し方、用語、図を用いて理解し、記号を使って表すことができる。	1 7 15 21			14		第5回	10
	1	後期テスト	命題の逆等を理解し、対偶を利用した証明法を学び、論理的な思考力を養う。	5	4	4			第6回	7
	2		後期レポートは下記の範囲を中心に出题します。 後期レポート第1回～6回、テスト対策プリント（第6回 レポートに同封）					1 8		
	3									